

中小企業景況調査（令和4年4月～令和4年6月）の報告

【調査概要】

- ・調査対象：玖珠町商工会管内 40 事業所
- ・調査方法：経営指導員によるヒアリング調査

【業種別内訳】

業種	製造業	建設業	小売業	サービス業	合計
事業所数	5	6	11	18	40

【項目別景況判断】

①今期の状況（対前年同期比）

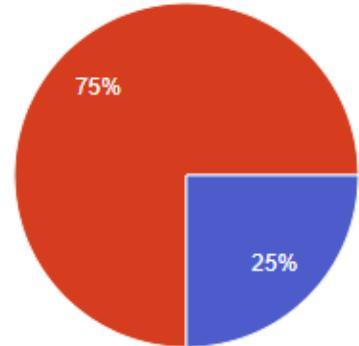
項目	売上高	客数・受注数	従業員数	採算	業況
景況判断	⬇️	⬇️	⬇️	⬇️	⬇️
D I 値	▲30%	▲35%	▲13%	▲38%	▲33%

※D I 値とは 良いと答えた企業の割合から、悪いと答えた企業の割合を引いて計算した値を示す

②来期（7～9月期）設備投資計画があるか

設備投資計画あり・・・10者（25%）

設備投資計画なし・・・30者（75%）



③経営上の問題点における重要度（令和4年4～6月期）

	選択肢1位	選択肢2位	選択肢3位
重要度1位	原材料（仕入商品）価格の上昇	従業員の確保難	設備の不足・老朽化
重要度2位	原材料（仕入商品）価格の上昇	製品（商品）ニーズの変化への対応	・人件費の増加 ・民間需要の停滞 ・原材料（商品）の不足
重要度3位	・原材料費・人件費以外の経費の増加 ・従業員の確保難 ・製品（商品）ニーズの変化への対応	原材料（仕入商品）価格の上昇	・取引条件の悪化 ・熟練技術者の確保難